



あったか荻野



【学校教育目標】

「自ら学び、心豊かにたくましく生きる子どもを育成する」

横須賀市立荻野小学校

学校だより 第3号

令和3年 6月 4日

校長：山田伊久男



暑く感じる日が多くなりました。児童の水筒の氷がからからという音を立てています。市内の感染状況は落ち着きませんが、子どもたちは元気に学校生活を送っています。(学校HPブログも更新しています。このお便り以外の内容もありますのでご覧ください。)

●防災訓練と引き取り訓練

集中的に3回の防災訓練を行いました。①地震で屋上への避難と引き取り②火災でグラウンドへの避難③大津波警報で南葉山霊園への避難の3つです。目的によって、避難方法が違うことが意識できました。

①4/28。この日は風が大変強く、ざわつくときがありましたが、「静かにしよう」という声があがり、話を静かに聞けました。「大変なときほど冷静になって、きちんと話を聞ける集団」に育ててほしいと改めて思いました。

保護者による引き取り訓練では、この日に初めて担任と顔を合わせるため、いろいろとお話したいこともあったかと思いますが、みなさま協力的に対応してくださって、スムーズに進めることができました。ありがとうございました。

②5/12。火災の訓練では、火と煙が回る怖さを確認して、急いで逃げました。避難開始から4分30秒ほどで全員がグラウンドに避難できました。マスクもしていますが、ハンカチなどを常備しておくことが大事だと伝えました。

③5/14。この日はかなり暑い日でした。津波を避けるイメージで、足早に霊園まで行きましたが、低学年児童にとっては、かなりきつかったと思います。よく頑張りました。大津波警報では、町中の人々が逃げだすようになるけれども、落ち着いて、高いところに逃げるようにと話しました。



●5月の生活目標の振り返り

5月の生活目標は「助け合ってやりきろう」はグーチョコキパーのパー（優しさ）に関わる目標でした。何でも自分でできることは素晴らしいです。でも、できないこともあるのが、人間です。自分ができないと、孤独感や無力感を感じますが、そんなとき友達が一緒にやってくれれば、とてもうれしくなります。「目標ができたときは？」と尋ねると、委員会、クラブ、町探検などの場面や、勉強、掃除、係り活動、生き物飼育などが出ました。



●地域の方から、うれしいご連絡をいただきました

地域のある方から本校にご連絡がありました。「自宅脇の水路に落ちた布団を、武中の生徒と荻野小の児童が拾ってくれたらしい。置手紙があった。直接お礼を伝えられないので伝えてほしい」という内容でした。ご連絡ありがとうございました。素敵ですね！その方も、連絡を受けた我々も、そして、たぶん本人たちも、温かい気持ちになれたでしょう。

各クラスでも報告して、温かい気持ちを共有することができました。なお、「そこがどういふ場所かわからないけれど、小学生には危険かもしれないので、異変に気づいたときには、大人に連絡・相談するということも覚えておいて」と付け加えました。

●お金の使い方などについて、ご家庭でもご確認ください

最近、放課後における児童のお金に関するトラブルの情報をいくつか耳にすることがありました。そこで、各担任から、お金について学級指導を行いました。内容としては、大金を持ち歩かない、子ども同士でお金や物をもらったりあげたりしない、お家のお金を勝手に持ち出さないなどです。逆に言うと、そういうところで友達とのトラブルが起っています。

大人でも、お金がらみで人間関係に支障が出る場合があります。でも、私たちはお金と関わらずに生きていけません。また、プリペイドカードや電子マネー、課金などお金と同じようなものもあります。いろいろ考えると、お金や、お金の使い方については、学ぶべきことがたくさんあると感じます。

こういうトラブルが今後起こらないように、ご家庭でも、お子さんやお孫さんのお金の使い方についてお声掛けいただいたり、年齢や環境に合わせて、お金のルールやマナー等について一緒に考えていただいたり、ご協力くださいますようお願いいたします。



●教育実習期間終了

5/10～6/4の4週間、養護教諭（保健の先生）の教育実習生が来て、とてもまじめに取り組んでいました。『あったか荻野』は広く地域の方にも公開しているので、名前などは控えますが、コメントを紹介します。これからも、応援しています！

4週間、本当にありがとうございました。

養護実習生として過ごす中で自分の未熟さを痛感し、反省ばかりの日々でした。しかし、朝、教室にお邪魔したときに、子どもたちが元気に挨拶をしてくれたり、いろいろなお話を聞かせてくれたりするのがとてもうれしくて、毎日楽しく頑張ることができました。あたたかい荻野小学校の先生方と子どもたちから学ばせていただいたこと、過ごした日々は決して忘れません。

改めまして、本当にありがとうございました。この4週間を糧にこれからも頑張ります！

